

優れた医療機器の創出に係る産業振興拠点強化事業 事後評価結果

研究開発課題名	循環器疾患の革新的な医療機器の創出と支援人材を育む産業振興拠点
研究開発代表機関	国立研究開発法人国立循環器病研究センター
研究開発代表者	飯原 弘二

【計画実施概要】

循環器病に係る国立高度専門医療研究センター（NC: National Center）として、当初の計画では連続講座形式での幅広い教育手法で人材育成を図ろうとしていたところ、一部変更を加えてこれまで蓄積されたデバイス開発実績に伴う特色を活かした高クラス機器やオーファンの開発支援のハンズオン教育にフォーカスするとともに、病院・研究所・オープンイノベーションセンターが一体となって推進する実施体制にて取り組んだ。これらにより OJT（On the Job Training）にて1)開発事例を通じて海外展開をサポートする人材を育成していくこと、2)クラスⅢ・Ⅳのデバイス事例を研究フェーズに留まらずに事業化フェーズに進めていくこと、3)外部機関等と連携して人的リソースを活用していくことを通じ、成果としてデバイス開発事例も進捗させた。高クラス機器やオーファンの開発に要する年月は長期に及ぶこと、開発カルテの整理等の課題を踏まえつつ、今後はNCとしての位置づけに鑑みて、特に企業のみでは実用化が難しいとされるオーファンデバイスやクラスⅢ、Ⅳのデバイス開発に注力し、実用化できるデバイスの創出に努めていく。

【評価コメント】

クラスⅢ・Ⅳ医療機器領域への明確な注力、企業人材だけでなく、機関内の人材（研究者/デバイス開発の伴走推進者）育成に注力されている点が評価された。

以上